第7号 神館だより

【発行日】
令和8年11月吉日
【発行者】
神館飯野高市本多神社
神戸宗社 広報委員会

神館飯野高市本多神社之印

御造営竣工時期延期



令和6年より皆様からの御造営に向けた篤きご奉賛を頂き今年で4年目を迎えます。現在の奉賛金額は約5000万円となり、本当に大変ありがたいことです。しかし、社会情勢の変化を受けた物価高騰により、建設にかかる材料費や人件費等にも大きな影響が出てきました。そのため、御造営にかかる費用も大きく膨らんできています。そこで、竣工時期を令和14年度へ延長する事としました。予定変更は大変申し訳ない事と思っています。事業当初に掲げた約3億円の目標に向け、より一層の尽力をしてまいります。皆様には、引き続き神戸宗社御造営に向け、重ねてのご奉賛を頂きますようお願い申し上げます。

御造営の意義「常若の精神」

御造営の本質的な意義は、「常若（とこわか）の精神」にあります。常に新しく瑞々しい状態を保ち続けることで、永遠の繁栄に向かうという日本独自の精神性・美意識のことを指します。これは、「不老不死」のように時間が止まることを意味するのではなく、「新しく生まれ変わり続けることで、結果として永遠へとつながる」というダイナミックな循環の思想にもとづきます。

◆清浄の維持　いつかは朽ちる自然の素材である木材を使用し、定期的に作り直す（リセットする）ことで、時の経過による衰えや穢れ（木枯れ、気枯れ）を祓い、常に最も清浄で生命力にあふれた状態（瑞々しさ）を維持します。これにより神様の力が若返り、より強い御神威（御神徳）となって、神戸に住まいする氏子住民、神戸宗社を崇敬する人々や事業、神戸町全体の繁栄へと結びつきます。

◆精神の継承　形ある神社「物」そのものを永続させる一面と同様に、大変重要なもう一面があります。それは、「関わる人々の精神」を途絶えさせることなく繋いでいくことです。多くの方に奉賛頂き、お心を寄せ合い集い合い、ご支援ご協力頂く中で、コミュニティ全体の生命力もまた「常若」であり続けます。おじいちゃんおばあちゃん、お父さんお母さん、子ども、孫、そして次に生まれてくる新しい命。神戸の長い歴史の中で私たちは生かされています。次に繋いでいく使命が私たちにはあります。

◆日常の中にも　「常若の精神」は、私たちの毎日のくらしや年中行事の中にも深く息づいています。毎日の習慣で言えば、朝の洗顔や掃除です。睡眠中に溜まった汚れ（気枯れ）を洗い流すことや、朝一番に部屋を掃き清めることで、その日一日を最も清浄な状態でスタートさせます。年中行事では、お正月があります。今年の年神様を送り出し、新しい年神様をお迎えします。大掃除をしたり、衣服を新調したりして、新年を迎えるのは、まさに自分自身を「常若」にするための最大の儀礼です。

氏神様のお神札を、暮らしの中へ
「暮らしに寄り添う感謝と祈りの場所」へ

◆氏神様って何ですか？

自分が暮らしている地域を守ってくださる神様です。氏神様は、遠くの有名な神社の神様というより、「自分たちが暮らす土地と、その地域の人々を見守る神様」という存在です。その氏神様のお神札を家にお迎えすることは、「家族の安全を願う」「日々の暮らしを見守っていただく」「地域とのつながりを意識する」「今日も無事に過ごせますように」と心を整える、そんな、日本の暮らしに昔からある地域の神様に守って頂いていると感じ感謝する習慣のひとつです。

◆お神札を飾ると、何かご利益があるの？

お神札は、ご利益と言うよりも「今日も無事に一日を過ごせますように」「家族が健康でありますように」「仕事が無事に進みますように」という気持ちを、日常の中で思い出せます。

◆神棚がない家でも大丈夫ですか？

神棚がなくても、お神札をお祀りすることはできます。基本的には「家族が集まる場所」「清潔な場所」「目線より高い場所」「落ち着いて手を合わせられる場所」などが適しています。例えば、リビングは、家族が一番集まる場所。玄関は、家に入る場所として、家を守っていただく場所という考え方もできます。書斎・仕事部屋は、仕事の安全や成功を願う場所として。和室は、伝統的な雰囲気と相性が良い場所です。

◆どこでもいいの？

「神様をお祀りする場所」として、できるだけ丁寧に扱える場所を選んで下さい。適している場所は、「家の中で一番きれいで、落ち着いていて、家族が自然に目にする場所」と考えると選びやすいでしょう。逆にNGな場所は、「床に直接置く」「足元など非常に低い場所」「不衛生な場所」「物置のようになっている場所」「お札の上を人が頻繁に通るような場所」などは避けるのが無難です。

◆お神札はどちら向きに飾ればいい？

一般的には、南向きまたは東向きがよいとされています。ただし、住宅事情によって難しい場合もあります。大切なのは、「方角を完璧に合わせること」だけではなく、お神札を丁寧にお祀りできる場所を選ぶことよいでしょう。

◆お神札とお守りって同じもの？

どちらも神社から授かるものですが、役割や扱い方に違いがあります。お神札は、家や職場など、その場所をお守りいただくもの。「家全体のお守り」「家族の暮らしを見守る」「神様をお祀りする場所に置く」「基本的に家の中で大切にお祀りする」という意味があります。お守りは、自分自身が身につけて持ち歩くもの。「交通安全」「学業成就」「厄除け」「健康」「安産」「良縁」など、個人の願いや目的に合わせて持つことが多いものです。簡単に言うと、お神札＝「家を守る」、お守り＝「自分を守る」、と考えると分かりやすいでしょう。もちろん、これは役割を理解するための簡単な整理であり、実際には神社やお神札・お守りの種類によって意味合いがあります。

◆うちは洋風の家だから神棚を置く場所がありません。

現代の住宅では、「神棚を置くスペースがない」「インテリアに合わない」「賃貸住宅で壁に穴を開けられない」「若い世代には神棚は少しハードルが高い」ということがあります。だからこそ、「神棚を置く」のではなく、「お神札を美しくお祀りする場所をつくる」という発想を提案します。

◆現代の暮らしに合ったお祀りの方法は？

①壁掛けタイプ。木製のフレームや台座にお神札を納める方法です。洋室にも自然になじみます。②棚置きタイプ。無垢材や陶器の小さな台に立てて飾る方法です。インテリアの一部として取り入れやすくなります。③ミニ神棚タイプ。伝統的な神棚をコンパクトかつシンプルにしたスタイルです。④アート感覚タイプ。木や和紙、金属などを組み合わせ、お神札そのものを美しく見せるスタイルです。大切なのは、おしゃれに飾ることだけではありません。神聖なものを、現代の暮らしに合う形で丁寧にお祀りすること、そこに意味があります。

◆毎日拝まないといけませんか？

「必ず毎日拝まなければならない」というより、日々の暮らしの中で感謝や祈りを大切にすることが重要です。「行ってきます」「ただいま」「今日も無事でした」そんな一言から始めてもよいでしょう。

◆お神札に触ってはいけませんか？

必要以上に触れる必要はありませんが、掃除や交換などで扱う場合は、丁寧に扱えば問題ありません。

◆お神札はずっと飾っていていい？

お神札には、神社によってお受けする期間や交換についての案内があります。一般的には、年末年始などに新しいお神札をお受けし、古いお神札は授かった神社などに納めます。

◆複数の神社のお神札を一緒に飾ってもいい？

一般的には可能です。

◆お神札をおしゃれなフレームに入れてもいい？

「お神札を粗末に扱わない」ということを前提に、現代の住環境に合う形でお祀りすると良いと思います。

◆新しい「お神札のある暮らし」は？

昔は、家の中に当たり前のように神棚がありました。しかし、住宅も暮らし方も大きく変わった今、「神棚を置くこと」だけが答えではありません。お神札を飾る場所を、現代の暮らしに合わせてデザインする。そして、「毎日目にする場所に、地域の神様をお迎えする。」それは、日本の文化を今の時代に合わせて受け継ぐ、新しい方法なのかもしれません。神戸宗社では、伊勢神宮から頂いた神棚を無料でお譲りしています。この機会にお神札を飾ってみようと思われた方は、宮司までお声がけくださいませ。



TOPICS

募集案内

第63回神宮式年遷宮 第二次お木曳行事参加募集

令和7年神戸宗社「御代木奉迎送行事」、令和8年「第一次お木曳行事」に続く、今回の式年遷宮においては、最後のお木曳行事となります。
日本国民の一大祭典に参加し、共に感動を共有頂ければと思います。



開催日時　令和9年5月9日（日）終日 ※雨天決行

開催場所　伊勢神宮（外宮）

募集人数　約40名 ※先着順とし、定員になり次第締切

行事内容　指定されたお木曳車を外宮まで奉曳し、外宮にて御垣内参拝（正式参拝）。その後、昼食。
そして、内宮参拝とおはらいまち散策。

参 加 費　24,000円（予定）

費用内訳　法被、鉢巻き、記念品、帽子、バス代、食事代等

申込方法　宮司TELへ連絡
090-4858-9786

申込内容　住所、氏名、年齢、性別、電話番号

申込締切　令和8年12月15日（火）

特記事項
- 三重県神社庁鈴鹿支部として参加。
- 欠席やキャンセルの場合、払い戻し不可。※代理参加は可能。
- 詳細情報については、4月頃に追ってお知らせいたします。

神戸宗社「奉燈提灯」奉納募集

神戸宗社「奉燈提灯」は、氏神様に捧げる皆様のお心の証として、境内を一年通じて明るく照らし、参拝者の方々の心を和ませる大切な灯りであります。是非、奉燈お申込み頂ければと思います。

燈 明 料　1灯につき 20,000円/年

奉燈期間　令和9年1月～12月までの1年間。

奉燈方法　境内所定の場所に奉燈いたします。

申込方法　宮司TELへ連絡（090-4858-9786）

申込締切　令和8年11月30日（月）



御祭神について（豊受大御神）

◆ **豊受皇大御神（とようけすめおおみかみ）どんな神様？**　伊勢神宮の外宮にご鎮座まします神様で、神戸宗社の主祭神4柱の1柱でもあります。国造りの神である伊邪那美神（イザナミノカミ）から生まれた和久産巣日神（ワクムスヒノカミ）の娘で、食物・衣食住の神様です。



◆ **伊勢国へ**　天照皇大御神が伊勢神宮内宮にご鎮座された約500年後、第21代 雄略天皇の御代、天照皇大御神が天皇の夢枕に立ち、「自分一人では食事が安らかにできないので、丹波国よさの真名井原（現在の京都府宮津市）にいる食の神、豊受大御神を近くに呼び寄せなさい」との神託（お告げ）を授けました。これを受けた雄略天皇が、豊受皇大御神を伊勢の度会（山田原）へお迎えして建立したのが、現在の伊勢神宮外宮です。ご遷座されて以降「御饌都神（みけつかみ）」として、最高神である天照皇大御神をはじめとする神々の日々の食事を調理し、給仕され、1500年経った現在も毎日欠かさず執り行われています。

◆ **神戸宗社との由縁**　豊受皇大御神が丹波国から遷される道中に伊勢国神戸にお立ち寄りになられました。豊受皇大御神の御魂は「飯野神社」として祀られ、御祭神として古くから厚い信仰を集めていました。「飯野神社」は延喜式神名帳に記載された格式高い式内社でありました。戦国時代の弘治年間（1555年～1557年）当時の城主である神戸友盛（かんべとももり）が「神戸城」を築城・拡張するにあたり、城下町や宿場の大規模な区画整理を行いました。その際に、「飯野神社」は、「神館神明社」と「高市神社」と合わせて一つのお宮「神館飯野高市本多神社」としてお祀りされることとなりました。

◆ **むすび**　こうして、神戸宗社は日本の二大最高神である天照皇大御神（内宮）と豊受皇大御神（外宮）の「両宮」を主祭神として一堂に祀る、全国的にも非常に珍しく、一度に両宮を参拝できる特別な聖地となっています。

お知らせ

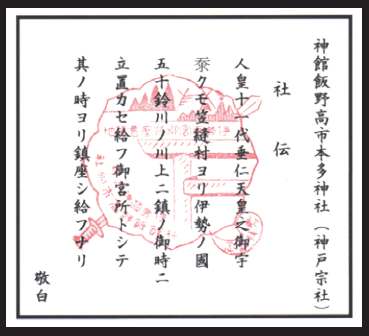
◆ 令和8年11月23日（月）
新嘗祭　五穀豊穣と地域安寧に感謝するお祭りにご参拝ください。

◆ 令和8年12月上旬頃
お神札さん頒布開始
神主が各戸訪問致します。

◆ 令和8年12月31日（木）
大晦日

◆ 令和9年元旦（金）
歳旦祭、初詣

◆ 令和9年1月15日（金）
注連縄焼き



家具・インテリア・修理
モルモリビング
〒513-0801 三重県鈴鹿市神戸2-15-18
TEL：059-382-0044

鈴鹿亀山まちかど博物館の店
有限会社 生活工房 かめだや
〒513-0801 鈴鹿市神戸2丁目20-37
TEL：059-382-0221

株式会社丸正呉服店
〒513-0801 鈴鹿市神戸2-17-22
TEL：070-8558-0529

スエヒロ貸衣裳店
〒513-0801 鈴鹿市神戸6-3-16
TEL：059-382-0517

学用品・和紙・印鑑 久保文具
〒513-0801
鈴鹿市神戸2丁目14-6
TEL：059-382-0377
インスタグラム

教室・Cafe Bon Mariage
〒513-0801
鈴鹿市神戸2丁目15-7
TEL：059-382-1038
インスタグラム

眠り上手は、しあわせ上手
ふとん・ギフト ハットリ
〒513-0801 鈴鹿市神戸6丁目3-12
TEL：059-382-0725

広告募集中！
1枠1回 5,000円(税込)

◆ 広告掲載のお申し込みは、直接お声がけいただくか、ホームページのお問い合わせフォームよりお願いいたします。

神館飯野高市本多神社
神戸宗社
〒513-0801
三重県鈴鹿市神戸2丁目18-28
TEL 059-382-4897

最新情報を随時更新中！
https://kanbe-sousha.jp

ホームページ

インスタグラム